亘理町地域おこし協力隊
令和5年度　活動報告

菅原　悠翔

自己紹介

・菅原　悠翔（すがわら　ゆうと）

・生年月日 2003/9/30

・宮城県 仙台市 出身

・6歳からスケートボードをはじめ、最初は地元のスクールに通いスケートボードを覚えていく。

・12歳の頃に東北大会優勝を経験し、17歳の時にスケートボード企業とのスポンサー契約を結ぶ。

・高校卒業後は、アルバイトをしながらスケートボーダーとして活動するために練習を続け、さまざまな大会に出場。

・亘理町の地域おこし活動を知り、自分もスケートボードを通して町を盛り上げたいと思い協力隊へ応募。

・2023年　亘理町地域おこし協力隊に着任。

2023年　活動の目的

・自分たちで毎月数回のスクールを開催したり、イベントを企画し亘理でスケートボードを広める。

→鳥の海スケートパークでスクールやイベント、大会を開催することで亘理町にたくさんのスケートボーダーが集まってもらえる。また、スケートボードに触れたことがない町の方々にも、興味や理解をいただき亘理のスケート文化を発展させていく。

・鳥の海スケートパークで技術を磨き、大会やイベントに参加し、亘理町のPRに努める。

→各地のスケートパークへ行きイベント・大会に参加することでその地域のスケートボーダーと交流をして亘理町に興味を持ってもらい足を運んでもらう。

活動内容

１　スケートボードスクール

２　イベント　企画・開催

３　大会・イベント への参加

1　スケートボードスクール

・活動内容

鳥の海公園スケートボードパークにて月に2，3回 毎週日曜日にスクールを開催。

自分たちの経験を活かしながら、参加していただいた方々の技術の向上を目指す。また、スクール内で交流を深めることで、スケートボードの楽しさを伝える。

・活動実績

年間で36回実施し、1日で10人～20人のスクール生が集まり、

合計で457人がスクールに参加した。

体験会やSNSをきっかけにスクールに足を運んでくれた。

亘理や周辺に住んでいる子どもたちもスクールに通ってくれている。

２　イベント　企画・開催

・活動内容

鳥の海公園スケートボードパークでイベントを行うことでスケートボードに触れたことがない町の方々にも興味をもってもらう。

宮城だけでなく山形や福島など近県のスケーターを集め、東北を盛り上げていく。

・活動実績

11月26日 鳥の海公園スケートボードパークにてイベント「WtoW skate jam」を開催。

チクタクレースや各セクションでのベストトリックコンテスト、じゃんけん大会を実施。

22人が参加し、保護者を含めると50人近くの方が集まった。イベントに賛同していただき、たくさんのスケートボードブランドからの協賛をいただいた。

・協賛ブランド

GIRL Skateboards,ZERO Skateboards,Imperial Skateboard,PUMA Japan,ASICS Skateboard,the bearing,

３　大会･イベント への参加

･活動内容

鳥の海公園スケートボードパークで練習をし、自分の技術を磨き優勝や入賞を目指して大会に出場する。

また出場するだけでなく、鳥の海公園スケートボードパークで大会を開催してもらえるよう大会関係者へ交渉･アピールする。

･活動実績

9月にAJSA東北予選を鳥の海公園スケートボードパークで開催。

テレビ番組「KASSO」に出演。

スケートボードブランドの撮影や新聞等の取材に参加。

マイナビスケートボード日本オープン出場。

DAMMAM出場。

2023年　活動の成果

・自分たちで毎月数回のスクールを開催したり、イベントを企画し亘理でスケートボードを広める。

→4月からスクールを継続することができ、参加してくれている人も定着してきた。

11月にイベントを開催しスクールに来てくれている子どもたち以外にもたくさん人たちがパークに集まってくれた。

・鳥の海公園スケートボードパークで技術を磨き、大会やイベントに参加し、亘理町のPRに努める。

→大会に出場して優勝などの実績を出すことはできなかったが、テレビに出演して亘理町のことやスクールのことを日本中に発信できたと思う。

4 今年度の反省･改善

･スクールやイベントの情報発信が遅くなってしまう時があった。

→SNS等を使ってこまめに発信していく。

　投稿する曜日や時間を固定する。

･スクール参加者の定着はできたが、増加がなかなかできなかった。

→体験会を組み込んだイベントを企画する。

　SNSアカウントを更新し、沢山の方の目につくように運用していく。

･スケートボードのイベント等にはあまり参加することができなく、 PRが十分にできなかった。

→もっと技術を向上させ、イベントや撮影に呼んでいただけるよう努力し、 PRの機会を増やす。

5　来年度の活動計画

・スケートスクールの継続、拡大

毎月行っているスケートボードスクールを来年度も継続していく。

もっとたくさんの人に鳥の海で行っているスクールを知ってもらうため、 SNS等を使った情報発信を積極的に行う。

また、町内の子どもたちにスケートボードに興味を持ってもらうため、体験会を定期的に行う。

・イベントの企画、開催

今年度開催したイベントには沢山のスケーターに足を運んでいただけたので来年度も開催したい。

来年度のイベントをより盛り上げるために、去年とは違った企画を考えていきたい。